

報道関係各位

 飯 能 市
 記 者 発 表 資 料
 令 和 元 年 6 月 3 日

件 名 令和元年度入所児童数等の状況及び待機児童対策について

1 概要

本市では、保育所等利用待機児童の解消策として、緊急的に実施した山手保育所の受入枠の拡大策や法人による特定教育・保育施設の整備の推進などを行ってきたところ、平成31年4月1日時点の入所申込者数は前年と比較して54人増の1,321人で、入所児童数は53人増の1,243人となりました。また、待機児童数は、前年と比較して3人減の9人となりました。

今年度につきましても、保育所等受入可能枠の積極的な活用や保育コンシェルジュによる支援体制の強化などの諸施策を実施することにより待機児童解消に向けて対策を進めていきます。

2 内容

(1) 入所児童数等の状況 (4月1日時点)

(単位：人)

区分	平成31年	平成30年	増減
	計数	計数	
入所申込者数 (A)	1,321	1,267	54
入所児童数 (B)	1,243	1,190	53
特定教育・保育施設	1,238	1,188	50
特定地域型保育事業	5	2	3
入所していない児童数(保留児童数) (C) =A-B	78	77	1
待機児童数から除かれる児童数 (D)	69	65	4
企業主導型保育事業利用児童	1	0	1
求職活動を休止している者	20	11	9
特定の保育園等を希望している者	36	49	▲ 13
育児休業中の者	12	5	7
待機児童数 (E) =C-D	9	12	▲ 3

- ・待機児童数（平成31年4月1日）の内訳については、0歳児2人、1歳児3人、2歳児2人、3歳児2人であった。
- ・育児休業中の者とは、保育所等に入所できたときに復職する意思を確認でき

ない世帯の児童数である。

- ・入所保留となった児童の保護者には、今年度から配置した保育コンシェルジュにより、丁寧な聞き取りを実施し現状把握を行った。

(2) 今年度進める対策

待機児童対策として、以下の施策を実施します。

①保育所等受入可能枠の積極的な活用

公立保育所においては、正規職員を6人（保育士5人、保健師1人）増員することにより山手保育所など複数の保育所で昨年度より多くの受入数が確保でき、民間保育園等においても定員の弾力化の実施等により、全体として昨年度と比較して入所児童を53人増やすことができました。

また、適正な受入枠の確保により、5月には14人が入所し、6月には6人の受入を行いました。

今後も引き続き公立保育所及び民間保育園等における受入可能枠の活用を積極的に実施・勧奨することにより、待機児童解消にとどまらず、保育の必要な方へ適正な保育サービスが提供できるよう、対策に取り組んでいきます。

②保育コンシェルジュの配置による支援体制の強化

経験豊富な保育士による保育コンシェルジュを新たに配置し、これまで以上の相談体制や情報発信の充実を図ります。

例えば特定の保育所のみを希望していることで入所が保留となっている方に対して、きめ細かな相談対応や情報提供により保育の選択肢を広げてもらうことでその方に合った保育サービスを受けられるようにするなど、保護者等に対して適切な子育て環境の創出に努めます。

③法人による特定教育・保育施設等の整備の推進

今年度は、法人主体により以下2件の施設整備が予定されており、本市として全面的にバックアップしていきます。

また、新たな地域型保育事業等への事業者参入について、引き続き支援していきます。

ア 民間保育園の新設

名称：Nicot 飯能

所在地：飯能市南町60-1 外（地番）

（飯能駅南口スポーツ飯能ボウル隣接地）

保育定員：60名（0歳児6名、1歳児10名、2歳児以降各11名）

設置者：株式会社こどもの森

開園予定日：令和2年4月1日

イ 市内幼稚園（保育園）の幼保連携型認定こども園への移行

名称：（仮称）認定こども園白鳥幼稚園

所在地：飯能市大字岩沢1129

保育定員：90名（0歳児6名、1歳児12名、2歳児以降各18名）

※ 認定こども園移行による保育の利用定員増分は32名

(1歳児4名、2歳児以降各7名)

設置者：学校法人恵迪学園

開園予定日：令和2年4月1日

担当者 健康福祉部参事兼保育課長
根岸

連絡先 TEL 042-973-2119